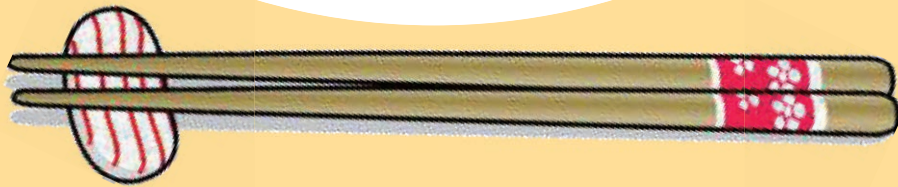


# 食 べ る



2015  
November  
Vol.6



口から食べることは  
生命をはぐくむ根幹である  
美味しく食べることは  
今ここにある喜びを  
噛みしめることであり  
生きる希望である  
口から食べて幸せに暮らせる  
優しい社会になるよう  
力を注ぎたい！



- 理事長挨拶・第3回全国大会開催報告
- 会員情報・定款変更について
- 実技セミナー報告(宮崎)
- 活動紹介(熊本)・(和歌山)
- 今後の予定・書籍紹介など

## 理事長挨拶

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から当 NPO 法人の活動におきまして、多大なるご理解とご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。このたび会報誌 6 号「食べる」を発行致しました。

まずは、第 3 回全国大会は、全国各地から大勢の皆様にお集まりいただき、「広がりゆく多職種の仲間たち」を身近に感じつつ、盛會に終えることができました。ご参加いただいた皆様、ご登壇くださった方、スタッフとしてご尽力くださった方々に改めてお礼申し上げます。

社会的背景からも「口から食べる支援」の重要性とニーズは、今後もさらなる広がりが増していきます。当 NPO の活動では実技セミナーなどを通して、多くの方々が支援のスキルアップを図れるようになりました。“進化と精度”を高めていけるような技術教育と啓発活動を継続していきたいと考えています。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸を心から祈念しております。

NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事長 小山珠美

## 第 3 回全国大会ご報告

2015 年 7 月 11 日(土)に神奈川県民ホールにて第 3 回全国大会が開催されました。台風の影響で天候が懸念されましたが、お天気もよく無事に当日を迎えることができました。大会は、参加者 361 名、関係者も含めると 420 名も方にご参加いただきました。また、21 社の企業様に展示をしていただきました。皆様、誠にありがとうございました。



今年は実技セミナーも行いました！

### 参加者の声

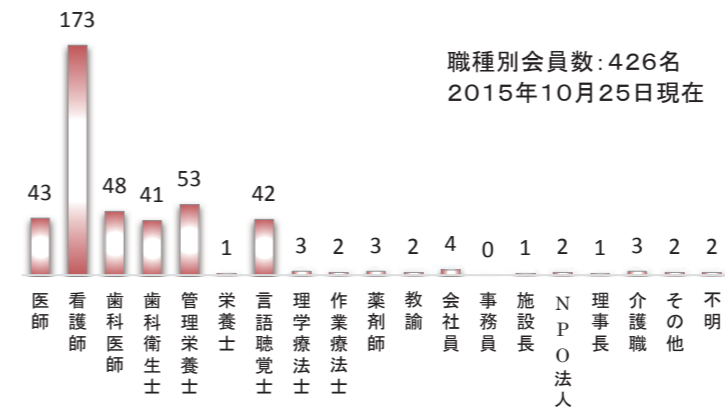
一般講演では各 演者の取り組みがどれも興味深く刺激されました。基調講演をはじめ 先生方の講演では笑いもあり一言も聞き逃したくないと思わせる内容でとても勉強になりました。やはり病院独自だけでは進歩がなく 全国の病院 施設 地域 さらに世界の動向を知ることは大切だと感じました 沢山のやるべきことが見つかりました これを持ち帰り試行錯誤していきます。

本会の活動は、理念にエビデンスの裏づけがとれてスキルをしっかりと共有し伝えていく、というスタンスがはつきりしました。書籍の発行もタイミングがよく、今後は職種を問わず若手コアメンバーがどんどん集ってくる流れになるといいなと思います。

多職種での連携、包括的ケアの重要性を改めて実感しました。自身が都心部での在宅看護に携わっており、規模の大きな病院との食支援の連携は皆無に等しい状況であり、孤立感を感じてしまうことも多々あります。学会や職域を超えた KTSM の活動に今後も期待すると共に、自身の技術の向上に努めたいと改めて感じました。

## 会員情報

### ■正会員（個人）



### ■正会員（団体）

- ・朝仁歯科医院/鹿児島県
- ・井荻歯科医院/東京都
- ・NPO 法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会/秋田県
- ・紀州リハビリケア訪問看護ステーション/和歌山県
- ・気仙沼市立本吉病院/宮城県
- ・佐野厚生総合病院/栃木県
- ・社会福祉法人 福祉楽団/千葉県
- ・特別養護老人ホームおおうち/秋田県
- ・特別養護老人ホーム恵風荘/宮城県
- ・ナチュラルスマイル西宮北口歯科/兵庫県

### ■賛助会員（団体）

- ・イオン株式会社
  - ・株式会社天柳
  - ・日清オイリオグループ株式会社
  - ・医療法人 社団晃和会
  - ・株式会社東京技研
  - ・ニュートリー株式会社
  - ・株式会社オーラルケア
  - ・株式会社ニシウラ
  - ・ラックヘルスクエア株式会社
  - ・株式会社クリニコ
  - ・株式会社ヘルシーネット
- (50 音順)

## 定款変更のお知らせ

### 第 1 号議案 特定非営利活動法人口から食べる幸せを守る会定款（案）の件

定款 第 7 章 第 48 条 法人の事業年度の変更の件

変更事項に係る新旧比較対照表

新	旧
第 7 章 資産及び会計 (事業年度) 第 48 条 この法人の事業年度は、毎年 5 月 1 日に始まり翌年 4 月 30 日に終わる。	第 7 章 資産及び会計 (事業年度) 第 48 条 この法人の事業年度は、毎年 6 月 1 日に始まり翌年 5 月 31 日に終わる。

### 【定款の変更理由】

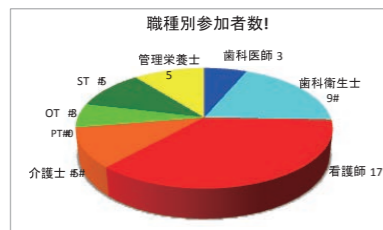
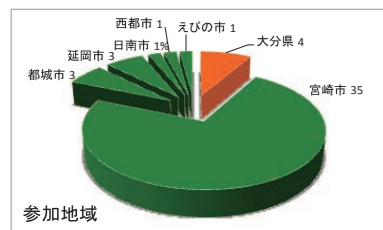
当法人では、設立時に事業年度を 6 月 1 日に始まり翌年 5 月 31 日に終わる 1 年間を設定しました。これは、法人の神奈川県知事承認日が平成 25 年 6 月 4 日で、登記日が 6 月 11 日であったことから設定したものです。その後、毎年の通常総会を 7 月に開催し、事業報告、決算報告、事業計画等について報告してきました。しかし、5 月 31 日の決算日から通常総会までの期日が短く、決算処理を行う日程が十分に確保できないという困難が生じてきました。円滑かつ正確な決算事務の履行と、より正確な報告を会員へ行うための期間を確保する目的で、次年度から事業年度を 1 ヶ月前倒しして、毎年 5 月 1 日に始まり翌年 4 月 30 日に終わる、と変更したいと考えています。今回の変更事項は、定款登記事項に該当するため、臨時総会に出席した正会員の 4 分の 3 以上の議決を経て、総会終了後に法務局への手続きを必要とします。会員の皆様には 12 月までに電磁的方法にて臨時総会での決議をお願いすることになります。住所やメールアドレスに変更がある方は速やかに事務局までご連絡くださいますよう宜しくお願い申し上げます。



# 第16回 KTSM 実技セミナー in 宮崎 開催報告

平成27年8月1日(土)に、小山理事長、竹市副理事に加え、熊本と大分からもアドバイザーを迎え、参加者48名および見学者3名において、宮崎市での第16回実技セミナー基本コースを開催しました。

前日7月31日(金)には、玉名地域保健医療センターの前田圭介医師を迎え、「誤嚥性肺炎と包括的多職種介入」という演題でご講演いただき、100名を超える参加者で大盛況に終えることができました。



実技セミナーには、宮崎の地ではなかなかこのような体験をすることが難しいため、参加者も各地域からの参加があり、職種も現在の職務内容も越えての参加でした。

理論と実際が繋がった気がした、今対象にしている患者さんのタイプが違うが、実際に活か

せる時が来たら活かしたいなどの前向きな意見も多く聞かれましたが、専門として動いたのに視点がずれていた、普段の現場で見ているとできると思っていたが、今回のセミナーでいざやろうとすると手が動かなかった、などの反省のコメントも多かったことに、今後患者さんに接してもらう時に是非役立ててほしいものです。



<講義風景>



<実技風景>



質問もたくさん！！



グループでの実習で習得した知識をもとに、その後、車椅子での食事介助方法を、皆で学びました。

できるようでなかなか出来ない、「ああ、そうだった」「そうすればいいのかあ」などの声も多々聞かれました。

ちょっとしたこと、しかし患者さんにとってはとても食べやすくなることを体験を通して学ぶことができました。

今回、初めてKTSMの実技セミナーに参加させていただきました。臨床では食事介助を行うこともあり、また学生や新人、他職種に指導する立場としても、自身の考えや技術の確認と新しい技術を習得することが目的でした。実技セミナーを受けて感じたことは、新しい視点や技術を学べたことがもちろん貴重でしたが、今まで「わかってたつもり」のことが実践しきれていなかった、つまり「わかってなかった」ということに気付けたことも非常に大きいことでした。再度自身を見つめ直し、実践に取り入れています。患者様に合わせることは基本ですが、介助者が良い環境を設定し、リズムを作ってより食べられるよう促していくことも重要で、介助者、患者役を体験することでさらに実感できたと思います。KTSMの理論とブレない軸があるので、安心して提供できる、伝達できる内容でした。

最後に、小山先生をはじめ遠方にもかかわらずお越しいただいたアドバイザーの先生方、熱意のあるセミナーをありがとうございました。また、企画、準備したスタッフ、手伝っていただいたボランティアの皆様へ感謝を申し上げます。

ST 外山慶一



Ns. 濱砂 歯科医師 清山 ST 外山

今回、企画・運営をした、研究会世話人です。とても勉強になりました ♪

大変貴重な経験でした。しかしここだけで終わらず、臨床の現場に役立てていきます！



# 口から食べるプロジェクト



桜十字病院 外来師長 建山 幸

口から食べることが出来なかった患者さまが、食べられるようになると、患者さま・ご家族は笑顔になります。その姿を見た職員も笑顔になり、自らのアプローチで患者さまが食べられるようになったことで、喜びや自信につながります。栄養データという数値的な改善ではなく、「口から食べる」を体感することで、みんなが笑顔になれる栄養サポートができるのだと気づき、取り組み始めたことが、「口から食べるプロジェクト」でした。



## プロジェクト推進に向けて～

病院取り組み目標に「口から食べるプロジェクト」推進が掲げられ、全職員で取り組むプロジェクトであることを認識一致しました。プロジェクトは、職員に「口から食べる」ことの大切さを知ってもらうことから始め、プロジェクトの医師による全職員研修とプロジェクトブースの設置から始まりました。ブースには症例報告や研修会報告などを掲示し、感心を持ってもらえるように情報発信を行っています。また、クチタベテレビを製作し、食事介助や口腔ケアなどの方法を上映し、職員の学びの場になるようにしています。

## 教育指導に力を入れる！

ラウンドは、昼食時間に行っています。崩れた姿勢での食事介助場面や、不適切な食事介助場面を直接指導します。また、良い点・悪い点を写真に残し、病棟スタッフにアドバイスを行っています。その他教育では、KTSM 実技セミナーで学んだ事を、院内セミナーとして毎日実施し、職員の食事介助技術向上に努めています。患者体験を行うことで 患者さまの状態を自分に置き換える事が出来る人材を育てたいと思っています。



## 楽しむ事を大切に

さまざまな取り組みを行う中で重要視していることは、職員に分かりやすく・楽しく「口から食べる」大切さが伝わることです。そこで、職員が楽しくプロジェクトに参加できるよう『クチタベアワード2015』を開催しました。各病棟・部署・個人から「口から食べる」に関する取り組みがノミネートされ、全職員で投票を行い、金・銀・銅賞を決めるというものです。賞品のお食事券に、大喜びの病棟でした。

9月からKT バランスチャートを用いた回診をスタートしました。初めての評価はベッドサイドで行われ、患者さまの状態を1項目ごと評価しました。レーダーチャートが出た瞬間、患者さまの弱みが見え、強みにする為に何をすればよいか分かり、みんなで興奮したのを覚えています。これまで、病棟へのアドバイスに自信を持てず伝わっているのか不安がありましたが、レーダーチャートを使用することで、分かりやすく病棟へアドバイスすることができました。今後、KT バランスチャートを院内に広める活動をしていきます。また、プロジェクトとして、院外活動にも力を入れたいと考えています。グループ施設のお客さまや地域住民の方々の「口から食べる」為の健康維持に向けて、健康教室や食事介助技術セミナーを開催し、今後も「口から食べる」患者さまが一人でも多くなるよう、桜十字病院一同、楽しくプロジェクトを推進していきたく思います。



## 桜十字病院

住 所：熊本市南区御幸木部1丁目1番1号  
電 話：096-378-1111  
F A X：096-378-1119  
H P：http://www.sakurajyuji.or.jp

<病床数641床>  
・地域包括ケア病棟：45床  
・回復期リハビリテーション病棟：40床  
・障害者施設等一般病棟：150床  
・特殊疾患病棟：60床  
・医療療養病棟（在宅復帰機能強化型）：172床  
・医療療養病棟：153床  
・緩和ケア病棟：21床  
<診療科>  
内科・漢方内科・外科・小児科・小児外科・消化器内科・消化器外科・呼吸器内科  
循環器内科・肛門外科・神経内科・脳神経外科・整形外科・麻酔科(白石文恵)  
リハビリテーション科・皮膚科・放射線科・精神科・歯科



# 在宅を創る—多職種協働と食支援—

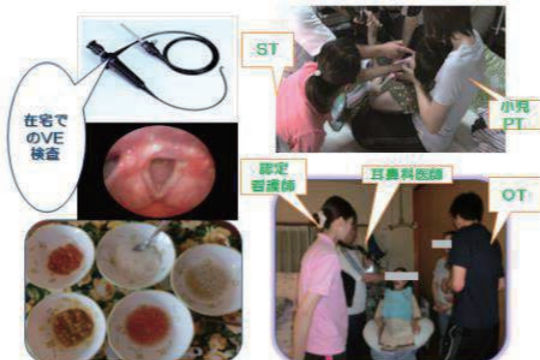


寺本千秋(てらもと かずあき)  
株式会社紀州ライフコーディネートサービス 代表取締役  
紀州リハビリケア訪問看護ステーション・紀州リハビリケアデイサービスセンター(社)和歌山県作業療法士会 副会長・和歌山摂食嚥下研究会 理事

食事とは“栄養摂取”という側面だけでなく、人の生活を豊かにする“楽しみ”としての側面があり、多角的な支援が必要です。よって「口から食べる」ことを支援するためには、多くの職業の方が摂食・嚥下障害に対しての、包括的なスキルを知ることが重要です。9月には当会理事長小山珠美先生編集の「口から食べる幸せをサポートする包括的スキル(医学書院)」が出版され、私も「第3章 食事動作」の執筆に参加させていただきました。この書籍は摂食嚥下障害にサービスの均等化への一助となったのではないかと思います。また臨床を経験する中で、よく「なんとか食べられているから大丈夫」といった場面に遭遇します。こういった状況に気づくための人材育成もまた重要です。職種の垣根を飛び越えた「口から食べる幸せを守る会」の活動は、今、私たち専門家がができる真の活動のように感じています。今回は介護事業でどういった食支援をおこなっているのかを紹介します。

## ○医学的視点に基づいた介護(ケア)の重要性

“医学的視点に基づいた介護の実践”を当事業所の第1目標に掲げ、あらゆる疾患に対応していますが、ここでは「摂食・嚥下障害」に特化してお話させていただきます。当事業所には嚥下障害を専門とする看護師・セラピストが在籍しております。また同じく専門の耳鼻科医・歯科医・管理栄養士・歯科衛生士などもすぐに連携がとれる体制にあります。デイサービスセンターでは認定看護師が嚥下機能評価を行い、食事のレベルを決定します。そしてセラピストが食具・姿勢の調整を行い、食事介助が必要な方には介助方法を介護職員に指導します。食事は“嚥下食バイキング”で提供しており、自分の状態に適した料理を、好きな分量取り分けてもらいます。ただこれだけの事ではありますが、これができないデイサービスがほとんどというのが実情です。適切な嚥下機能評価(医学的視点)に基づき、その方にとって、最適な食材を選び、多くの食具や自具、姿勢調整用のクッションなど、安楽・安全に食べられる環境を提供するデイサービスを実践しております。



## ○嚥下往診システムの紹介

平成21年度より訪問看護ステーションのサービスの一つとして、当事業所では「嚥下往診」という取り組みを行っております。嚥下往診とは「訪問診療・往診と訪問看護」を用いて、複数の職種で評価・支援するサービスであり、対象者が暮らす生活環境で多職種協働の支援が出来れば、生活に直結した、より精度の高い食支援が提供できるのです。嚥下往診チームは耳鼻科医師・認定看護師・OTによって実施しており、適時、PT・ST・管理栄養士の介入もあります。内容は対象者の摂食環境において、日常で食べている食材を用いた嚥下内視鏡検査(VE検査)を実施し、食材の決定や姿勢・介助方法・調理方法・リスク管理等の指導を行います。多職種協働のメリットは、生活する住環境・食事内容などで検査が行え、専門職が包括的・多角的に評価・アプローチし、個人に合った方法を本人・家族を中心として検討ができることです。

最後に…私たちの活動が、私たち自身が生まれ育てていただいた今も住むこの地域の、口から食べる幸せの一助となれば幸いです。これからも日々“一生懸命”でいたいと思います。

# <今後の予定> KTSM実技セミナー

回数	開催日	開催場所	コース	募集人数
第21回	12月6日(日)	秋田県由利本荘市	スキルアップ	30
第22回	12月12日(土)	広島県廿日市市	基礎&アドバンス	50
第23回	12月19日(土)	京都府	基礎 (栄養士会との共催で一般公募せず)	30
第24回	2016年 1月17日(日)	東京都	基礎	30
第25回	2月21日(日)	東京都	スキルアップ&アドバンス	30
第26回	3月20日(日)	秋田県秋田市	基礎&スキルアップ	100
第27回	4月24日(日)	秋田県湯沢市	基礎&スキルアップ	未定
第28回	4月30日(土)	宮城県気仙沼市	基礎&スキルアップ	未定
第29回	5月7日(土)	北海道函館市	基礎	未定
第30回	5月21日(土)	宮城県古川市	基礎	未定

\*実際と異なる場合がありますので、最新情報はホームページをご確認ください。

## 書籍紹介

### 口から食べる幸せをサポートする包括的スキル — KT バランスチャートの活用と支援 —

臨床実践から生まれた「KT(口から食べる)バランスチャート」での包括的な評価をもとに、摂食嚥下障害者になるべく早期に口から食べる幸せを取り戻すための支援技術をわかりやすく解説した一冊です。 編集：小山 珠美



## "NEWS"



高齢肺炎患者に早期経口摂取(入院後2日以内)を行うと経口摂取への移行率が高く早期退院できるという論文が JAGS (アメリカ老年医学学会誌)に掲載されました。高齢者の誤嚥性肺炎でも早期摂食嚥下評価、早期経口摂取、寝たきり予防が肝心です!



## 摂食嚥下関連医療資源マップ

厚生労働科学研究委託費長寿・障害総合研究事業

摂食嚥下の問題に対応できる医療資源マップを作成しております。

HP : <http://www.swallowing.link/>

# 第4回

## 全国大会開催のご案内

開催日)2016年7月2日(土)

会場)横浜市教育会館

大会スローガン)～多職種で繋ごう“食の憩い”～

大会長)小山 珠美(NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事長)

副大会長)古屋 聡(市立牧丘病院 院長)

※詳細につきましては、随時ホームページにて更新してまいります。

(<http://ktsm.jimdo.com/>)

2015  
November  
Vol.6

発行日：2015年11月7日

発行責任者：NPO 法人口から食べる幸せを守る会®

※本会報誌の無断コピーや使用については著作権の関係上、固くお断りいたします。

Copyright© 2013 口から食べる幸せを守る会®. All Rights Reserved.